

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルの道	必修 選択の別		開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	15 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	岩淵 太秀	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校卒業後、美容師、美容商社勤務を経て札幌ベルエポック美容専門学校の職員として勤務、現在に至る。						
【授業を通じての到達目標】									
職業人としての自立を目指しながら将来像を明確にする。 ヘアメイク・ファッションのプロとしての成長、コミュニケーション能力の向上、実習準備・振り返りを通して業界で活躍する人間性を確立する									
【学習内容】									
学校のルールを理解する、仲間づくり(チームワーク、教えあう、思いやり)									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
社会人基礎力、コミュニケーション検定本									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16)	【到達目標】 ☆学校仲間作りを出来る様になる・ハイブリッド教育を受ける準備を調える ○自己紹介 ○クラス目標・個人目標制作(グループワーク) ○Teams登録・操作練習 ※目標設定①				⑨ (6/25)	【到達目標】 ☆美容室を調べ将来のビジョンを考える様になる② ○就職活動について(東京、札幌) ○サロに見学表作成			
② (4/23)	【到達目標】 ☆クラス、仲間作りを出来る様になる ○クラス目標プレゼン ○ポートフォリオ作成OGWの過ごし方 ○クラス会議①				⑩ (7/2)	【到達目標】 ☆国家試験への理解を深めよう、社会人としての基礎を理解し社会に出たときに活かそう ○国家試験を身近に感じる(2年生見学)※異学年交流 ○社会人基礎力①(主体性)			
③ (5/7)	【到達目標】 ☆プレゼン力をつけ主体性を身に着ける様になる ○OGWの作品プレゼン ○オンライン授業週間について				⑪ (7/9)	【到達目標】 ☆社会人としての基礎を理解し社会に出たときに活かそう ○社会人基礎力②(行動)			
④ (5/14) オンライン 週間	【到達目標】 ☆チームで学び協力することの大切さを知る ○TOPサロンゼミの事前学習 ○礼コレについて				⑫ (7/16)	【到達目標】 ☆クリエイティブを知り、完成を磨く ○調べ学習 ○グループワーク ○プレゼン ○夏休みについて			
⑤ (5/21)	【到達目標】 ☆チームで働く仕事を学び、今からどう行動していくべきかを考える ○ヘアショー・ファッションショー調べ学習 ○アシスタントプログラム・TOPサロンゼミについて ○TOPサロンゼミ振り返り				⑬ (8/27) オンライン 週間	【到達目標】 ☆クラス会議を通じて仲間作りを出来る様になる ○夏休みの課題提出 ○夏休みあけ出欠対抗リレー案内(全校性) ○クラス会議②			
⑥ (5/28)	【到達目標】 ☆TOPサロンゼミにむけて、心構えをまなぶ ○TOPサロンゼミ事前学習 ○動機付け				⑭ (9/3)	【到達目標】 ☆入学して半年を振り返り、思い出動画の作成 ○夏休み明け個人面談 ※目標再設定③			
⑦ (6/11)	【到達目標】 ☆社会の成り立ちを理解する ○グループワーク ○運動会振り返り				⑮ (9/10)	【定期試験】50 ☆技術・業界・社会にふれた半年を振り返った動画を作成し、残りの1年生としての学び方を考え実行の計画を考える ○1Sの振り返り、定期試験 ※目標再設定③			
⑧ (6/18)	【到達目標】 ☆将来の自分を思い描き就きたい職業について知る ○HM・FAを調べる ○職業リサーチ ○就職活動について(自己分析→強み弱み) ※目標設定②				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ヘアセット	必修 選択の別	選択	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	1年生		
講師名	岸田 知紘	講師 プロフィール	札幌ビューティーメイク専門学校卒業。美容室に勤務。 経験を積みヘアセットの世界へ。セットサロン歴13年。 サロンワーク外でも様々なヘアセットを手掛ける。 スタジオjpヘアメイクスクールにて講師として活動後、現在フリーの講師となる。						

【授業を通じての到達目標】

ピンの使い方、一束の仕方などヘアセットの基礎を学ぶ。
シニヨン・夜会、面のスタイルや編み込みなどの習得。
ヘアセットの基礎を学ぶ。

【学習内容】

基礎を知る。技術は反復により一層一層の理解を深める。
【出来る】【わかる】が自信に繋がり向上心へと繋がる。

【使用教科書・教材・参考図書】

セットウィッグ・クランプホットカーラー・ロールブラシ
ダッカル・ピン類・ゴム・ゴムを切るはさみ
ハードスプレー・ドライヤー・水スプレー・ヘアアイオン・テールコム

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/20)	【到達目標】デモンストレーションにより道具の使い方、動きや姿勢などを見てヘアセットのイメージを持つ (小テスト3点)	⑨ (6/22)	【到達目標】アイロンによるカール・編み込みが習得できる。(小テスト3点)
	自己紹介・デモンストレーション・道具の説明・道具の使い方 ブロッキング・ホットカーラーの巻き方と実践・一束の仕方を知る。		スタイルの作成。
② (4/26)	【到達目標】ホットカーラーが全頭巻けるようになる。一束ができるようになる。ピン打ちを理解できるようになる。(小テスト3点)	⑩ (6/29)	【到達目標】ヘアとメイクをイメージに合わせて完成できるようになる。(相モデル) (小テスト10点)
	ホットカーラーの角度・コムの扱い方を学ぶ。 一束の仕方と頭部のポイントを学ぶ。ピン打ちを理論的に理解する。		トレンドメイクとコラボ授業。練習日6/23。 トレンドメイクで決めたペアでヘアとメイクの練習。 翌6/30本番に向けての練習。
③ (5/11)	【到達目標】ホットカーラーの反復、ピン打ちができるようになる。一束ができるようになる (小テスト3点)	⑪ (7/6)	【到達目標】逆毛の理論を理解できるようになる。(小テスト3点)
	様々なスタイルの基礎を学ぶ。		逆毛の理論を意識したスタイル。
④ (5/18)	【到達目標】スタイルが作れるようになる。(小テスト3点)	⑫ (7/13)	【到達目標】面のスタイルができるようになる。 定期試験のスタイルを把握する。(小テスト 点)
	オンライン授業。シニヨンを作る。		夜会巻きの歴史・デモンストレーションにより実践的な理解と技術の習得。
⑤ (5/25)	【到達目標】ゴム・ピン・カーラーでスタイルができるようになる (小テスト3点)	⑬ (7/20)	【到達目標】面のスタイルができるようになる。(小テスト3点)
	シニヨンの応用。		オンライン授業・夜会巻きのより実践的な理解と技術の習得。
⑥ (6/1)	【到達目標】アイロンの扱い方・巻き方が理解できるようになる。 カール・クセを伸ばすためのブロー (小テスト3点)	⑭ (8/24)	【到達目標】試験内容・チェックポイントを理解する。(小テスト3点)
	理論と実践。ピン打ちと合わせてダウンスタイルに挑戦する。		定期試験練習。
⑦ (6/8)	【到達目標】ヘアアイロン・カールの違いが理解できるようになる。 編み込みの習得。(小テスト3点)	⑮ (9/7)	【定期試験】 50
	巻き方の基本の反復。編み込みの習得。		面のスタイルの理解、お客様を意識した 仕上げの強度・シルエットの美しさ・時間内にスタイルを 仕上げられるかを審査する。
⑧ (6/15)	【到達目標】様々なカールと様々な編み込みの習得する。(小テスト3点)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
	技術の違いと印象の違いを知る。実践する。		

【履修に当たっての心構え・留意点】

名刺・シラバス・道具などの忘れ物は小テストよりマイナスとする。

講義シラバス

科目名	メイク I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	1年生		
講師名	アトリエ/サトウ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、プライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが14名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
基礎のメイクの仕方と接客マナーの大切さを学び、JESCメイク検定に合格できるようになる									
【学習内容】									
接客マナーを意識し、30分以内でナチュラルメイクを仕上げることができるようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式、テキスト、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/20)	【到達目標】 小テスト3点 道具の名称とケア方法、身だしなみ、セッティングまでをできるようにする (P5～9、40、72)				⑨ (6/22)	【到達目標】 小テスト4点 事前準備からリップまでを相モデルで35分以内でできるようにする (ベース、チーク、リップの仕上がりをチェック) 筆記模試			
② (4/26)	【到達目標】 小テスト3点 セッティング、身だしなみを再確認し、パウダーまでをセルフメイクでできるようにする (P10～21、73～75)				⑩ (6/29)	【到達目標】 小テスト4点 事前準備からリップまでを相モデルで30分以内でできるようにする (アイメイクの仕上がりをチェック) 筆記模試			
③ (5/11)	【到達目標】 小テスト3点 事前準備からアイブローまでの手順をセルフメイクでできるようにする (P22～31)				⑪ (7/6)	【到達目標】 小テスト4点 事前準備からリップまでを相モデルで30分以内でできるようにする (アイブローの仕上がりをチェック) 筆記模試			
④ (5/18)	【到達目標】 小テスト3点 事前準備からリップまでをセルフメイクでできるようにする (P32～39) オンライン授業				⑫ (7/13)	【到達目標】 小テスト4点 事前準備からリップまでをセルフで20分以内でできるようにする 筆記模試 オンライン授業			
⑤ (5/25)	【到達目標】 小テスト3点 事前準備からリップまでをセルフメイクでできるようにする (タイムを計る)				⑬ (7/20)	【到達目標】 小テスト4点 事前準備からリップまでを相モデルで30分以内でできるようにする (挨拶、タイムコールなど検定と同じ様に) 筆記模試			
⑥ (6/1)	【到達目標】 小テスト3点 接客を意識し、事前準備からリップまでを相モデルでできるようにする				⑭ (8/24)	【到達目標】 小テスト4点 事前準備からリップまでを相モデルで30分以内でできるようにする (挨拶、タイムコールなど検定と同じ様に) 筆記模試			
⑦ (6/8)	【到達目標】 小テスト4点 接客を意識し、事前準備からリップまでを相モデルでできるようにする (タイムを計る)				⑮ (9/7)	【定期試験】50 模擬検定 事前準備からリップまでを相モデルで30分以内でできるようにする			
⑧ (6/15)	【到達目標】 小テスト4点 事前準備からリップまで40分以内でできるようにする 筆記模試				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	アシスタントプログラム	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	1年生		
講師名	対馬 友理	講師 プロフィール	札幌市内の美容室勤務後、フリーランスヘアメイクとして活躍。 Brush-up所属。 広告、CMを中心にモデル、タレント、アーティストのヘアメイクを担当。						
【授業を通じての到達目標】									
現場実習に備えて、クライアントやお客様に対するマナー、技術を身につける。									
【学習内容】									
アシスタントとして必要な知識や技術を身につける。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具、ヘア道具一式、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
①	【授業テーマ】 自己紹介、自分の将来についてイメージする				⑨	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【到達目標】 自己紹介シート記入、発表					【目標達成】 現場を想定したアシスタントワークの実践。(ヘア中心) ベースメイク、手直し			
②	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑩	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【到達目標】 実際の現場で使われる言葉やヘアメイクの現場について理解する					【目標達成】 現場を想定したアシスタントワークの実践。(ヘア中心) リップメイク、手直し			
③	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑪	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【目標達成】 身だしなみを中心に考える アシスタントに入る時の持ち物等					【目標達成】 現場を想定したアシスタントワークの実践。(ネイル中心) (講師2名体制) ヘアセット、ネイル			
④	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑫	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【目標達成】 現場における動き、身だしなみ オンライン					【目標達成】 現場を想定したアシスタントワークの実践。(ネイル中心) ヘアセット、ネイル			
⑤	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑬	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【目標達成】 現場を想定したアシスタントワークの実践。(ヘア中心) (講師2名体制) ピン打ちアシスタント					【目標達成】 【オンライン】現場でのマナーについて考える。 気遣いとは何か?を中心に考える。印象の良いアシスタントとは			
⑥	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑭	【授業テーマ】 ハキハキと元気にアシスタントらしく振舞えるようにする			
	【目標達成】 現場を想定したアシスタントワークの実践。(ヘア中心) ポニーテール基礎					【目標達成】 自分の強みについて考える			
⑦	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑮	【授業テーマ】 ハキハキと元気にアシスタントらしく振舞えるようにする			
	【目標達成】 現場を想定したアシスタントワークの実践。(ヘア中心) 前髪作り					【目標達成】 1分間スピーチ			
⑧	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				【成績評価の方法と基準】				
	【目標達成】 今までのまとめ筆記、ヘアセット実技 中間チェック				●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
講師2名体制の時は藤先生へのアシスタント依頼をしたいと思います									

講義シラバス

科目名	ファッション研究	必修 選択の別	選択	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60	時間
学科				コース	1学年					
講師名	中村 貴子	講師 プロフィール	Sternkugel 代表 TV・広告・CMなど様々なジャンルでスタイリストとして活躍。2020年衣装レンタル&撮影をプロデュースする「haNER」を立ち上げる							
【授業を通じての到達目標】										
ファッションとヘアメイクのアイデンティティを学び、創造性、自主性、発信、協調性を学びながらなりたい自分に近づく。										
【学習内容】										
ファッションをメインとしたポートレート撮影を達成とし、週ごとに企画・計画・実技を反復し実践想定授業内容を組み、プロとして業界での仕事内容を詳しく掘り下げた内容を覚え、3名1組のグループを作りセルフプロデュースやベーススキルを身につける。										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
アイロン、裁縫セット、筆記用具、画用紙、雑誌、カメラ、衣装(携帯可)					カメラマン、撮影場所					
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (4/19)	【到達目標】小テスト3点到達までの授業スケジュールをたて授業に取り組む事が出来る オリエンテーション ヘアメイクからイメージを受けるファッションの繋がりを学習する。最終到達→ポートレート撮影の目的を知りグループごとに計画を立てる。				⑨ (6/21)	【到達目標】実技 クリエイティブな発想を形に変え感性を磨き発信力をつける。 インスピレーションを受けた造形物を衣装に置き換えグループごとに作品作りをする。完成品を動画や画像に残しプロモーション力をつける。				
② (4/26)	【到達目標】小テスト3点 チームで動き積極的に取り組む事が出来る。 グループに分かれ流行やコンテンツをマーケティング&リサーチし流行の流れを身につけ実践に生かす。リサーチ結果の報告をする。次週に使用するアイテムの確認をしあう。				⑩ (6/28)	【到達目標】小テスト4点 企画構成を学びプロモーションアピール力を身につける 最終定期試験→ポートレート撮影から学ぶ、クリエイティブな発想を生み出すヒント作り、基本的な画角の配置を学び、ポートフォリオに出来る撮影を目指す。次週の撮影準備の確認をチームで話し合う。				
③ (5/10)	【到達目標】小テスト3点 コーディネート実践力を身につけチームワークを身につける グループに分かれ前週にリサーチした内容を元に流行ファッションのコーディネート実践をする。準備したアイテムとモデルを使いコーディネートする。				⑪ (7/5)	【到達目標】小テスト4点 企画した内容をチームで共有し役割を組み立てる力を身につける 役割の確認→撮影場所、衣装の用意、小道具の用意、ヘアメイクの用意等の分担を話し合い、私物を持ちより衣装制作の計画を練る。衣装準備等忘れ物がないか役割担当ごとに確認し合う。				
④ (5/17)	【到達目標】小テスト3点 授業テーマを把握しデザイン画を完成させる事が出来る。 オンライン授業 トータルバランスやデザイン、コンセプトの意図を学び考える。ファッションデザイン画を提出する。				⑫ (7/12)	【到達目標】役割に対し責任ある行動を意図的にチーム力を付ける事が出来る。 準備した衣装にプラスアレンジを加える作業をグループごとに制作する。買い出しや作業をタイムスケジュール内に終わらせ、次週の工程をチームで打ち合わせをし、持ち物やメイク道具など次週で使う物の再確認をする。				
⑤ (5/24)	【到達目標】小テスト3点 グループごとに課題に応じて発案力を身につける事が出来る グループを作り、雑誌を参考にイメージをファッションと魅せるファッションの違いを学び、コーディネート提案を考える。次週の実技に使う衣装とメイク道具の確認と準備をする。				⑬ (7/13)	【到達目標】案や意見をまとめ作品を仕上げまとめる力を身につける。 オンライン授業 ビジュアル最終確認→各グループごとに次週の撮影等の報告、連絡事項、最終チェックをし、イメージビジュアルに近づいているのか最終確認を行う。				
⑥ (/)	【到達目標】小テスト3点 チームごとにイメージを形に変え発想を出し合い形に変える事 雑誌を参考に考えたコーディネートモデルを使い実践する。また、コーディネートのコンセプト、特徴を発表し共有しながらファッションについての感性を高め合う練習をする。				⑭ (8/23)	【到達目標】小テスト4点 個々の役割を明確にし協調性をもって取り組む事が出来る。 グループごとに撮影実践。画角やコーディネート、ポージングの細部を確認しながら計画した撮影を行いイメージにつなげる。担当した役割を責任をもって行動し即戦力を身につける。メイキングムービーをグループごとに撮りSNS等で発信し自己PRが出来るようになる。				
⑦ (6/7)	【到達目標】小テスト3点 基礎知識を身につけファッションのベースとなる知識を身につける シルエットとデザイン、色使い、コーディネートの基礎を学び代表的な種類、ライン、体系に合わせたコーディネート力を取得する。				⑮ (9/6)	【定期試験】50点 実技授業の振り返りし欠点や後期につなげる基本的な知識を習得 企画→制作→撮影までの流れを実践を通して経験と知識を習得しビジュアルコンテンツの在り方を考え後期の課題に取り組む力を付ける。				
⑧ (6/14)	【到達目標】小テスト3点 役割に責任を持ち積極的に提案し行動に移す事が出来る。 造形物からのインスピレーションを衣装にリンクさせヒントを得る力を身につけチームごとにイメージをデザインにおとす。ヘアメイクと衣装のリンクさせる事が重点。次週の実践に使用する衣装やメイク道具の準備、役割を明確にする。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
チャレンジする気持ち、責任ある行動、周りとの連携を常に心がける。										

講義シラバス

科目名	ネイルアート			開講区分	1S	授業形態	演習	総時間数	15 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	1年生		
講師名	前田聖子	講師プロフィール	日本ネイリスト協会認定講師 札幌市内にてプライベートサロン運営						
【授業を通じての到達目標】									
ネイルケアの基礎を身につけカラーリング～簡単なアートができるようになる ヘアメイク現場での必要な持ち塗りができるようになる									
【学習内容】									
ネイルケア. カラーリング. アート. フットケア									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
教材一式					提示された宿題等				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 道具の名称、使い方を知る 検品しながら道具の名称使い方を学ぶ				⑨ (6/23)	【到達目標】 フットケアの手順を知り施術できるようになる (小テスト3) デモンストレーション後相モデルでフットケア			
② (4/28)	【到達目標】 ネイルケアの基本を学び手順を知る (小テスト3) ネイルケアのデモ後アイモデルで実際にケアをする				⑩ (6/30)	【到達目標】 フットケアカラーをスムーズにできるようになる (小テスト5) フットケア、カラー、親指アート			
③ (5/12)	【到達目標】 カラーリングの手順を学び実際に塗れるようになる (小テスト3) 相モデルでカラーリング				⑪ (7/7)	【到達目標】 時間を意識した施術ができるようになる (小テスト5) フットカラー、アート			
④ (5/19)	【到達目標】 季節のアートを描けるようになる (小テスト3) オンライン授業 アート動画				⑫ (7/14)	【到達目標】 時間を意識した施術ができるようになる (小テスト5) ハンドケア、カラー			
⑤ (5/26)	【到達目標】 色彩の法則を学びアートに活かすことができるようになる (小テスト3) 色彩について学びアートチップを作成する				⑬ (7/21)	【到達目標】 季節のアートを描けるようになる (小テスト5) オンライン授業 アート動画			
⑥ (6/2)	【到達目標】 カラーリング、アートをスムーズに施術できるようになる (小テスト3) 色彩の法則を活かしカラー選び、アートをする				⑭ (8/25)	【到達目標】 流行や季節を意識したアートを作成できるようになる 切り抜き等でコラージュを作りアートチップと合わせ			
⑦ (6/9)	【到達目標】 流行や季節を意識したアートを作成できるようになる 切り抜き等でコラージュを作りアートチップと合わせ				⑮ (9/8)	【定期試験】 50 引き続き作品作り、提出			
⑧ (6/16)	【到達目標】 流行や季節を意識したアートを作成できるようになる (小テスト10) 切り抜き等でコラージュを作りアートチップと合わせ				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
持ち物確認の徹底、作業の邪魔にならない身だしなみ									

講義シラバス

科目名	トレンドメイク	必修 選択の別		開講 区分	1S	授業 形態		総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	1年生		
講師名	松丸 亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクアーティストとして個人サロンを経営。 撮影・ブライダル・イベントなども行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアメイクアーティストとして時代の変化や流行に敏感になることでメイクの知識・技術・提案力を身につけ、自分自身のセンスも磨く。									
【学習内容】									
最新のコスメを使いながら2021年春・夏のトレンドを学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式・筆記用具・ノート									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 シラバス内容をしっかりと理解した後、メイクの仕上がり方を左右する保湿・マッサージが出来るようになる。				⑨ (6/23)	【到達目標】 【岸田先生とのコラボ授業】チームとテーマを決めて素敵なヘアメイク作品を仕上げられるようになる。 (アシスタント岸田先生)			
② (4/28)	【到達目標】 旬のベースメイクアイテムを使い、肌の質感、立体感を意識したベースメイクが出来るようになる。				⑩ (6/30)	【到達目標】 【岸田先生とのコラボ授業】練習の成果を発揮し素敵なヘアメイク作品を仕上げる。 (アシスタント岸田先生)			
③ (5/12)	【到達目標】 相モデルの顔・毛質に合ったアイテム選びと眉の描き方・眉毛の形で変わる顔のイメージを理解できるようになる。				⑪ (7/7)	【到達目標】 キュート顔・クール顔対照的な二つのメイクが出来るようになる。			
④ (5/19)	【到達目標】 【オンライン授業】今までの復習をオンラインで講師が実践して見せる。その後、セルフメイクでトレンドを意識したメイクが出来るようになる。				⑫ (7/14)	【到達目標】 2021年SSメイクを調べ、相モデルの顔に似合ったトレンド顔を作れるようになる。			
⑤ (5/26)	【到達目標】 今季流行のアイシャドウコスメを使いながらビューラー・マスカラで印象的なアイメイクが出来るようになる。				⑬ (7/21)	【到達目標】 【オンライン授業】2021年SSメイクを調べセルフメイクでトレンド顔を作れるようになる。			
⑥ (6/2)	【到達目標】 トレンドカラーを抑えつつ、血色感や立体感のあるチークののせ方と美しいリップの塗り方が出来るようになる。				⑭ (8/25)	【到達目標】 相モデルに似合ったトレンドメイクを取り入れたカウンセリングシート作成・フルメイクを時間内に仕上げるようになる。			
⑦ (6/9)	【到達目標】 ハイライトによる立体感・艶の出し方やシェーディングによる陰影の出し方が出来るようになる。				⑮ (9/1)	【定期試験】50 相モデルに似合ったトレンドメイクを取り入れたカウンセリングシート作成・フルメイクを時間内に仕上げる。			
⑧ (6/16)	【到達目標】 肌・眉・チーク・リップにトレンドを取り入れ相モデルでフルメイクが出来るようになる。				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
自己管理が出来るよう指導する。忘れ物の管理において、準備不十分の者は小テストよりマイナスとする。									

講義シラバス

科目名	美容実習（ワインディング）	必修 選択の別	選択	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	45 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	塩田 実千代	講師 プロフィール	札幌市内の美容室勤務後、札幌で美容室経営。 その後、他の美容学校で18年間国家試験対策・ワインディングコンテスト、トニガイカットに従事。4年前よりベルエポックに勤務し国家試験科目の実技指導に携わっております。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師としてのマナー、授業への取り組み方、基礎的技術を学ぶ。									
【学習内容】									
準備、片付けを効率よく進め、上巻き、下巻き、姿勢の技術習得。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
シラバス、WD用具一式、ノート、筆記用具、タイマー					定期的な宿題提出。				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/22)	机上のセッティング、ウィックの取り扱いができるようになる。 (用具の取り扱い、準備の仕方、片付けを身につける)				⑨ (6/24)	B.Sブロックング、フロント5本の姿勢、スライス取り、巻けるようになる。 両B.Sのブロックング (6分) センター (12分)			
② (5/6)	【到達目標】 センターブロックングの姿勢、取り方、コームの回転を身につける。 (ブロックング、コームの扱い、スライス、シェーブ)				⑩ (7/1)	【到達目標】 右フロント、B.Sオレンジ、スライス取り、ステム、姿勢を覚える。 ブロックング (9分) センター (11分)			
③ (5/13)	【到達目標】 スライス幅とオンベースステム、上巻きを理解する。 (復習、上巻きの巻き方、ゴムかけ)				⑪ (7/8)	【到達目標】 右B.Sの巻きがスムーズにできるようになる。 (復習、右B.Sの下巻き姿勢、スライス、ステム) ブロックング (9分) センター (10分)			
④ (5/20)	【オンライン】 上巻きがスムーズにできるようになる。 (上巻き、姿勢、スライス、シェーブ、巻き方)				⑫ (7/15)	【到達目標】 姿勢、スライス、シェーブの強化。 ブロックング (8分) センター (10分) 右B.S (15分)			
⑤ (5/27)	【到達目標】 スライス幅と1/2ベースのステムを理解する。 (復習、下巻きの巻き方、姿勢、ゴムかけ)				⑬ (8/26)	【オンライン】 センターロッドが曲がらないように巻けるようになる。苦手部分強化。スピード強化。ブロックング (8分) センター (10分) 右B.S (15分)			
⑥ (6/3)	【到達目標】 下巻きがスムーズにできるようになる。 (下巻きの手つき、姿勢、シェーブの強化)				⑭ (9/2)	【到達目標】 スピード強化。早く巻けるようになる。 ブロックング (8分) センター・右B.S・S (25分)			
⑦ (6/10)	【到達目標】 センターブロックング (5分) / センター1本45秒 (13分) で巻けるようになる。 (ブロックング、上巻き、下巻きの強化)				⑮ (9/9)	【定期試験】 定期試験 ブロックング (8分) センター・右B.S・S (25分) (時間内完成)			
⑧ (6/17)	【到達目標】 中間チェック 10点 タイム内に巻けるようになる。 センターブロックング (5分) センター16本 (13分)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
遅刻、欠席忘れ物などなく日々の積み重ねを大切にしてください。									

講義シラバス

科目名	ブライダル	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	1年生		
講師名	藤 なつき	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校卒業。道外のサロンで美容師業、ヘアメイク、テレビ局を経験。札幌に戻りブライダル会社にてヘアメイク、コーディネーターとして勤務。現在、フリーランスヘアメイクとして婚礼をメインに働いております。						
【授業を通じての到達目標】									
1、ブライダルの基礎的な用語を理解する。 2、ブライダルの基礎的なヘアメイクができるようになる。 3、ドレスを着せられるようになる。									
【学習内容】									
ブライダルヘアメイクの基礎を学び、ブライダルの基礎的な用語、ドレスのライン、ブライダルヘアメイクを学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具、ヘアメイク道具一式、ノート、ファイル					1、事前準備 2、相モデルに合うヘアメイクを考えてくる 3、ノート、プリント整理				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】 筆記用具 小テスト2点 ・ブライダルの仕事内容や勤務形態を知る。 ・基本的なドレスのライン、ブーケの種類を理解し判別できるようになる。				⑨ (6/21)	【到達目標】 ウィッグ、ヘア道具一式、裁縫道具 小テスト3点 ・ドレスのサイズ直しができるようになる。裁縫道具用意。 (コンテストや作品どりのために！) ・ウィッグであみおろしを作れるようになる。			
② (4/26)	【到達目標】 相モデル、ピン皿 小テスト3点 ・相モデルでドレスを着せられるようになる。 (ドレス、モデルに合わせて簡単なヘアセット、小物をあわせられるようになる。)				⑩ (6/28)	【到達目標】 ウィッグ、ヘア道具一式(ホットカーラー) 小テスト3点 ・お色直しを考えヘアセット、ヘアチェンジができるようになる。(ウィッグ)			
③ (5/10)	【到達目標】 ウィッグ、ヘア道具一式(ホットカーラー) 小テスト3点 ・ブライダルの簡単なヘアセットがウィッグでできるようになる。 (ヘアに合わせてお花を選ぶことができるようになる)				⑪ (7/5)	【到達目標】 相モデル、ヘア道具一式(ホットカーラー) 小テスト4点 ・相モデルでヘアセット2スタイル作れるようになる。 (挙式スタイル、お色直しスタイル) 1人目			
④ (5/17)	【到達目標】 メイク道具 小テスト2点 【オンライン】 ・ブライダルのメイクと普段のメイクの違いを知り、メイクができるようになる。 (セルフメイク) ・5/31のグループ分け、役割分担、ヘアメイク考える。				⑫ (7/12)	【到達目標】 渋谷先生代講予定 ヘア道具一式(ホットカーラー) 小テスト4点 ・相モデルでヘアセット2スタイル作れるようになる。 (挙式スタイル、お色直しスタイル) 2人目			
⑤ (5/24)	【到達目標】 ウィッグ、ヘア道具一式(ホットカーラー) 小テスト3点 ・5/17に考えたヘアをウィッグ、または相モデルで練習してできるようになる。				⑬ (7/19)	【到達目標】 ウィッグ、ヘア道具一式(ホットカーラー) 小テスト3点 【オンライン】 ・和装について学び小物など理解する。 (白無垢、色打掛、紋服) ・8/23のグループ分け			
⑥ (5/31)	【到達目標】 小テスト4点 ・学校行事のため課題対応				⑭ (8/23)	【到達目標】 ヘア道具一式(ホットカーラー)、メイク道具 小テスト8点 ・お花を使った作品を作ることができるようになる。 (グループで仕上げる)			
⑦ (6/7)	【到達目標】 ヘア道具一式(ホットカーラー)、メイク道具 小テスト4点 ・3人1組でブライダルヘアメイクをし写真を撮れるようになる。 (ヘアメイク、ドレス、小物全て仕上げる) 1人目				⑮ (9/6)	【定期試験】50点 ・相モデルでオーダーされたヘアを作り後ろ姿を写真に撮る。 (ドレス着用orレースなどのトップス着用)			
⑧ (6/14)	【到達目標】 ヘア道具一式(ホットカーラー)、メイク道具 小テスト4点 ・3人1組でブライダルヘアメイクをし写真を撮れるようになる。 (ヘアメイク、ドレス、小物全て仕上げる) 2、3人目				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
・忘れ物をしない！事前準備をしっかりとする！									

講義シラバス

科目名	コミュニケーションスキルアップ検定	必修 選択の別		開講 区分	1S	授業 形態		総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年			
講師名	中城美香	講師 プロフィール	エステティシャン歴17年。エステサロン運営(市内2店舗)。美容関連イベント企画主催運営、自身のラジオ番組パーソナリティー。女性のための美容活動を幅広く行う。						
【授業を通じての到達目標】									
7月実施予定『コミュニケーションスキルアップ検定』合格に向けての知識をつける。現場において必要なコミュニケーションスキルを身につけ、常に自分の考え・意思を明確化することを習慣にし、どのような場面でもプレゼンできるようになる。クライアントに対して、提示された仕事内容以上のことを提供・提案できるようになるためにコミュニケーション能力とプレゼンテーション力、接客マナーを学ぶ。									
【学習内容】									
ビジネスマナー、コミュニケーションスキル、プレゼンテーションの各分野を座学とアクティブラーニング等にて学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
コミュニケーションスキルアップ教本、筆記用具、ノート。 上記と授業で配布されたレジュメは毎回必ず持参すること。					必要時に随時課題提出有り				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16)	【到達目標】 ～オリエンテーション～授業の目的と到達目標の確認。自己紹介※小テスト シラバス説明。美容現場におけるコミュニケーションスキルの必要性を理解することができる。日々の意識付け。教本～コミュニケーションとは(第1章p7~11)※ノンバーバルコミュニケーション				⑨ (6/25)	【到達目標】 教本～社会的スキル(第5章p125~157) 接客マナー。コミュニケーションロープレ※小テスト 接客における基礎知識を理解できる。マニュアル以外のサービスがあることを知り、その重要度を理解する。さらに、どのような状況においても臨機応変さと可能性の幅を知る。アクティブラーニングを交えることで、実際の場面を想像し、行動できるようになる。			
② (4/23)	【到達目標】 教本～基本対話スキル(第2章p14~40)※メラビアン の法則 コミュニケーションロープレ ※小テスト 日常生活におけるコミュニケーションの質を上げることができるようになる。				⑩ (7/2)	【到達目標】 教本～社会的スキル(第5章p125~157) 接客マナー。コミュニケーションロープレ※小テスト 接客における基礎知識を理解できる。マニュアル以外のサービスがあることを知り、その重要度を理解する。さらに、どのような状況においても臨機応変さと可能性の幅を知る。アクティブラーニングを交えることで、実際の場面を想像し、行動できるようになる。			
③ (5/7)	【到達目標】 教本～自己表現スキル(第3章p41~91) コミュニケーションロープレ※小テスト 常に自分の考え・意思・意欲を明確化することを習慣にする。それにより、どのような場面であっても自分の意見を発言・プレゼンができるようになり、現場において自分の役割を最大限にアピールできるようになる。				⑪ (7/9)	【到達目標】 検定直前 総復習※小テストを行い合格点をを目指す。			
④ (5/14)	【到達目標】 オンライン※小テスト 過去問課題を使用し模擬抜見を行い、試験のイメージを持つことができる。				⑫ (7/16)	【到達目標】 プレゼンテーション基礎※小テスト コミュニケーション力を生かした上でのプレゼンテーション力の必要性を理解し、グループワークで簡単なプレゼンを行う。表現することに慣れる。			
⑤ (5/21)	【到達目標】 教本～自己表現スキル(第3章p41~91) コミュニケーションロープレ※小テスト 社会人としてのマナーの基礎を習得し、実際の場面においてもスムーズに行えるようになる。				⑬ (8/27)	【到達目標】 オンライン※小テスト 定期試験でのプレゼンテーション材料を集めて、詳しくまとめる。			
⑥ (5/28)	【到達目標】 教本～社会的スキル(第4章p93~124) ビジネスマナー。コミュニケーションロープレ※小テスト 社会人としてのマナーの基礎を習得し、実際の場面においてもスムーズに行えるようになる。学んだことを元にロープレをしながら身につけることができるようになる。				⑭ (9/3)	【到達目標】 グループワークをメインにプレゼン力、自己表現力、コミュニケーション力を磨くことができるようになる。			
⑦ (6/11)	【到達目標】 教本～社会的スキル(第4章p93~124) ビジネスマナー。コミュニケーションロープレ※小テスト 社会人としてのマナーの基礎を習得し、実際の場面においてもスムーズに行えるようになる。学んだことを元にロープレをしながら身につけることができるようになる。				⑮ (9/10)	【定期試験】50 定期試験(50点満点) プレゼンテーション発表			
⑧ (6/18)	【到達目標】 教本～第1章～第4章までの検定問題確認 ※小テスト 宿題課題での不明点を解決。振り回りチェック。				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
毎回の小テスト対象 授業態度、学習意欲、忘れ物、遅刻等を含む									